

お茶の水女子大学ジェンダー研究センター(IGS)主催 公開セミナー

VINGS の挑戦 —大学におけるトランスカルチュラルリティとジェンダー研究の試み

前みち子教授

お茶の水女子大学ジェンダー研究センター客員教授

デュッセルドルフ大学東アジア研究所所長・教授

開催日時 5月20日(木)6:30-9:00
場所 お茶の水女子大学附属図書館第二会議室
司会 館かおる / 杉橋やよい(本学ジェンダー研究センター)
コメンテーター 水田宗子(城西国際大学長、ジェンダー・女性学研究所長)

このたびジェンダー研究センターでは、前みち子教授を迎え、公開セミナーを開催します。前教授は、1984年からマールブルグ大学、1993年以来現在までデュッセルドルフ大学と、長年ドイツの大学で教鞭をとってこられています。主著には、Frauenbewegungen weltweit. Aufbrueche, Kontinuitaeten, Veraenderungen. 2000(『世界の女性運動—成立、継続性、変容』)、Getrennte Welten, gemeinsame Moderne? Geschlechterverhaeltnisse in Japan.1997(『分かたれた世界、共通の近代? 日本のジェンダー』)、『ドイツの見えない壁—女たちが問い直す統一』(共著)、1993などがあり、主論文には、Transkulturalitaet und Genderforschung 2002.(『トランスカルチャーとジェンダー研究』)、Oeffentlichkeit und Privatheit im japanischen Modernisierungsprozess. 2002.(『日本の近代化過程における公と私』)などがあります。主なる研究領域は、日独比較ジェンダー研究、ジェンダーと異文化間問題、トランスカルチャー研究とジェンダーです。1992年にドイツにおける学際的な日本関連ジェンダーワークショップをイルゼ・レンツ氏とともに立ち上げ、毎年開催しているほか、すでに40冊をこえるジェンダー研究書シリーズ「ジェンダーと社会」の編集委員でもあります。

このたびは、ドイツの大学におけるインターネット上のジェンダー教育の試みを紹介し、ドイツの大学改革ともからめて論じてくださいます。また、コメンテーターには、水田宗子城西国際大学長 / ジェンダー・女性学研究所長をお迎えし、日本での女性学・ジェンダー研究教育の連携などについても、議論をしたいと考えています。1回だけの公開セミナーになりますので、日時を確認のうえ、ふるってご参加ください。

セミナーの概要

前 みち子

今日、グローバル化する世界に対応した新しい大学教育の形を求めて世界各国で大々的な改革が行われつつある。ドイツの大学改革の一環としてメディア教育の充実が目標とされているが、それに応える形でジェンダー研究ネットワークのなかから、インターネットを使った、新しいジェンダー教育の方向を探るプロジェクトが誕生した。それが VINGS すなわち、ヴァーチャル・インターナショナル・ジェンダー・スタディーズ(Virtual International Gender Studies)である。ドイツの様々な大学や研究者の共同プロジェクトである VINGS は、国際性と学際性に重点をおき、インターネットの特徴をジェンダー教育に活かし、同時に受講者に新しいメディア利用能力を身につけさせることを目的として開設された。

今回のセミナーでは、このプロジェクトを紹介し、ジェンダー研究の成果と対応する新しい形の教育とどのように結びつけることができるのかを扱うことにする。なお、講演者が受け持ったコースは、新しい文化コンセプトである「トランスカルチュラルリティ」とジェンダー研究を結びつけるものである。国民国家に枠づけられた文化がそれぞれのジェンダー規範を規定してきたことを考えると、そのような文化コンセプトの形成と発展がジェンダー規範を変化させるためにぜひとも必要であると思われる。この新しい試みを盛り込んだネット上のジェンダー教育は、大学改革にも新しいインパクトをあたえることができるかも知れない。ヴァーチャルなジェンダー教育は、日本でも、また国際的な基盤で行うことも可能であり、そのような可能性について参加者と議論したい。

VINGS の挑戦

—大学におけるトランスカルチュラルリティとジェンダー研究の試み—

Michiko Mae (前みち子)

お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授

デュッセルドルフ大学東アジア研究所所長・教授

2004年5月20日(木)

時間：6:30～9:00pm

開催場所：お茶の水女子大学人間文化研究科棟6F大会議室

コメンテーター：水田宗子(城西国際大学学長)

司会：館かおる(本学ジェンダー研究センター教授)

杉橋やよい(本学ジェンダー研究センター専任講師)

このたびジェンダー研究センターでは、前みち子教授を迎え、公開セミナーを開催します。

前教授は、1984年からマールブルグ大学、1993年以来現在までデュッセルドルフ大学と、長年ドイツの大学で教鞭をとってこられています。主著には、Frauenbewegungen weltweit Aufbrueche, Kontinuitaeten, Veraenderungen 2000年(『世界の女性運動—成立、継続性、変容』)、Getrennte Welten, gemeinsame Moderne? Geschlechterverhaeltnisse in Japan 1997年(『分かれた世界、共通の近代? 日本のジェンダー』)、『ドイツの見えない壁—女たちが問い直す統一』(共著、1993年)などがあり、主論文には、Transkulturalitaet und Genderforschung 2002年(「トランスカルチャーとジェンダー研究」)、Oeffentlichkeit und Privatheit im japanischen Modernisierungsprozess 2002年(「日本の近代化過程における公と私」)などがあります。主なる研究領域は、日独比較ジェンダー研究、ジェンダーと異文化間問題、トランスカルチャー研究とジェンダーです。1992年にドイツにおける学際的な日本関連ジェンダーワークショップをイルゼ・レンツ氏とともに立ち上げ、毎年開催しているほか、すでに40冊をこえるジェンダー研究書シリーズ「ジェンダーと社会」の編集委員でもあります。

このたびは、ドイツの大学におけるインターネット上のジェンダー教育の試みを紹介し、ドイツの大学改革ともからめて論じてくださいます。1回だけの公開セミナーになりますので、日時を確認のうえ、ふるってご参加ください。

セミナー概要

今日、グローバル化する世界に対応した新しい大学教育の形を求めて世界各国で大々的な改革が行われつつある。ドイツの大学改革の一環としてメディア教育の充実が目標とさ

れているが、それに応える形でジェンダー研究ネットワークのなかから、インターネットを使った、新しいジェンダー教育の方向を探るプロジェクトが誕生した。それが VINGS すなわち、ヴァーチャル・インターナショナル・ジェンダー・スタディーズ (Virtual International Gender Studies) である。ドイツの様々な大学や研究者の共同プロジェクトである VINGS は、国際性と学際性に重点をおき、インターネットの特徴をジェンダー教育に活かし、同時に受講者に新しいメディア利用能力を身につけさせることを目的にして開設された。

今回のセミナーでは、このプロジェクトを紹介し、ジェンダー研究の成果と対応する新しい形の教育とどのように結びつけることができるのかを扱うことにする。なお、講演者が受け持ったコースは、新しい文化コンセプトである「トランスカルチュラルリティとジェンダー研究」を結びつけるものである。国民国家に枠づけられた文化がそれぞれのジェンダー規範を規定してきたことを考えるとき、そのような文化コンセプトの形成と発展がジェンダー規範を変化させるためにぜひとも必要であると思われる。この新しい試みを盛り込んだネット上のジェンダー教育は、大学改革にも新しいインパクトをあたえることができるかも知れない。ヴァーチャルなジェンダー教育は、日本でも、また国際的な基盤で行うことも可能であり、そのような可能性について参加者と議論したい。

■使用言語：講義は日本語

■参加費：無料（ただし、当日配布する資料代をいただきます）

■交通機関：丸の内線茗荷谷駅、もしくは有楽町線護国寺駅から徒歩 10 分

IGS ホームページ左側のメニューにて、大学までの案内図および大学内の地図が掲載されております。ご参照ください。大学構内入校の際、正門と南門にて身分証明書の提示をお願いすることがあります。ご協力の程よろしくお願い致します。

■申し込み方法：お申し込みは、別紙のファックス送信用フォーマットをご利用ください。E-mail にてお申込みになる場合は、お手数ですが、別紙の項目を参考にして氏名・連絡先等をお知らせください。申し込みに関してこちらから確認のご連絡は行っておりません。

■申し込み締切：2004 年 5 月 19 日（水）午後 4 時必着

（締め切り後のお申し込みは、公開セミナー事務局までご連絡ください）

■申し込み先：国立大学法人 お茶の水女子大学ジェンダー研究センター 公開セミナー事務局 宛

住所：〒112-8610 文京区大塚 2-1-1

Fax: 03-5978-5845 URL: <http://www.igs.ocha.ac.jp/>

E-mail: igs@cc.ocha.ac.jp (件名に「公開セミナー参加」と明記してください)